

砂漠のノマド

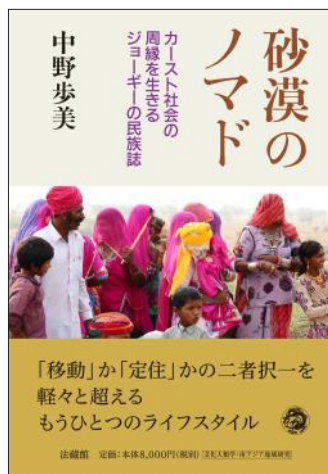
——カースト社会の周縁を生きるジョーギーの民族誌

なかの あゆみ

中野歩美 著

▼A5判・上製カバー・348頁・本体八、〇〇〇円＋税

2020年3月刊行



かつては呪術と物乞いで生きた砂漠の移動民ジョーギー。定住化を進めるインド政府の政策で、カースト制の底辺にいる彼らの暮らしはどう変わったのか。現地調査から、他カーストの村人とも共存する新たな生き方を明らかにする。

【目次】

序 章

- 第一節 問題背景と研究の目的
- 第二節 ジョーギーをめぐる先行研究とその限界
- 第三節 調査地域と方法
- 第四節 本書の構成

第一章

ジョーギーとは誰か
——「上から」の集団表象の変遷

- 第一節 帝国国勢調査と「カースト」の客体化
- 第二節 第一期(19世紀末〜20世紀初頭)
- 第三節 第二期(20世紀初頭〜インド独立期)
- 第四節 第三期(インド独立後〜現在)
- 第五節 小括

第二章

「定住化」後の暮らしと移動性

- 第一節 ジョーギー内部の集団組織構造
- 第二節 ジョーギーの生活様式とその変化

第三章

生計手段の変化と〈施し〉の現在

- 第一節 稼ぐこと
- 第二節 施しを乞う
- 第三節 ジョーギーの「定住化」と「異人性」の現在

第四章

信仰と儀礼にみるジョーギーの集団性

- 第一節 ナート派信仰からみる集団的特徴
- 第二節 二重の周縁性とハイブリッドな信仰実践

第五章

生活基盤としての親族の紐帯

- 第一節 北インドにおける婚姻表象
- 第二節 ジョーギーの婚姻実践と姻戚関係
- 第三節 姻戚ネットワークと集団範疇認識
- 第四節 生の拠り所としての親族ネットワーク

第六章

新たな「上から」の範疇化

——「ノマド」をめぐるNGO活動とジョーギー

- 第一節 ジョーギーをめぐる新たな集団範疇
- 第二節 クリミナル・トライブからDNTへ
- 第三節 現地のNGO活動とジョーギー
- 第四節 新たな括りと戦術的な自己表象の実践

結 章

初出一覧／参照文献

あとがき／用語集／索引

◆著者略歴

一九八八年、福岡県生まれ。二〇一五年、関西学院大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。博士(社会学)。専攻は、文化人類学、南アジア地域研究。現在、関西学院大学先端社会研究所専任研究員。主な論文…「放浪民ジョーギーの定住化と呪術性の現在」(『ストリート人類学』関根康正編、風響社)ほか。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様 冊
中野歩美 著 法蔵館 本体八、〇〇〇円＋税	
砂漠のノマド ——カースト社会の周縁を 生きたるジョーギーの民族誌 ISBN: 978-4-8318-6298-3 C3039	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

人類学・南アジア地域研究